

教育講演会と家族のうたコンサートの報告

12月1日金曜日、14時～17時すぎまで、大阪府教育センター大ホールで、教育講演会と家族の歌コンサートが開催されました。

家族の歌コンサートは、シンガーソングライターのリピート山中さんが『家族の歌』を熱演して下さいました。リピート山中さんは、あのヒット曲「ヨーデル（焼肉）食べ放題」を作ったシンガーソングライターです。あたたかい歌声と心に響くメッセージソングが、心を癒してくれます。どのような気持ちでその歌を作ったのかを、歌の合間に話して下さいました。

「とんかつのうた」は、今は死語になりそうになっている‘お茶の間‘をテーマに、家族のつながりがお茶の間から始まっていたことを思い出させてくれました。

今は、その大切なものが、見失われていることに気づかされました。「ワンダフルパートナー」や、「ありがとうの歌」は、ご自身の子供さんが、中学生時代に不登校になった実体験をもとに歌われました。‘どうしたいかという意思をあらわすことのできる空気をつくってやることの大切さ‘や、‘君にあえてよかったよ。生まれて



くれてありがとう。あなたの子どもでよかったよ。生んでくれてありがとう。‘などのメッセージがもりこまれていて、養護教育にも通じるすばらしい歌でした。来られた方の感想も、‘心に響く歌でした。感動しました。‘とたくさんの方が、書かれていました。

教育講演会は、「誕生からはじまる全人的性教育」—障害児の思春期を豊かにするために—というテーマで、大阪人間科学大学教授の服部祥子先生がお話して下さいました。性教育といえば、その時期だけに目がいきそうになりますが、生まれた時から性教育がはじまっていることを実感させてくれました。感想の中に‘母港があるから旅ができる話を、たくさんのお母さんたちに伝えたいと思いました。お母さん方にも聞いていただきたいと思う内容でした。‘というものがたくさんありました。

本当にすばらしい歌と、講演、とても意義のあるものでした。先生方の忙しい時期と重なり参加者が少なかったのがとても残念でした。また来年度に活かしていきたいと思いません。